



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日

上場会社名 福留ハム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福原 治彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理支援部長 (氏名) 深町 誠

TEL 082-278-6161

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	19,896	△0.8	△300	—	△268	—	△725	—
2019年3月期第3四半期	20,057	△1.3	60	△81.2	93	△73.1	△39	—

(注)包括利益 2020年3月期第3四半期 △844百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △483百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△217.40	—
2019年3月期第3四半期	△11.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	17,807	5,017	28.2
2019年3月期	17,831	5,912	33.2

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 5,016百万円 2019年3月期 5,911百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,600	△5.9	△420	—	△370	—	△850	—	△254.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	3,400,000 株	2019年3月期	3,400,000 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	62,872 株	2019年3月期	62,812 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	3,337,158 株	2019年3月期3Q	3,337,245 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の持続や雇用・所得環境の改善がみられるなど景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、個人消費は一部持ち直したものの、消費税増税後の消費マインドの影響からくる景気の下振れや将来不安からくる節約志向、さらには米中貿易摩擦の長期化をはじめとした不安定な海外情勢や原油価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、消費者の低価格・節約志向が根強く残るなか、一部供給原料の値上がりに伴う製造コスト等の上昇や人手不足等による労働コスト・物流費の上昇、さらには国内牛肉相場の高値継続の影響もあり、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、創業100周年を迎え経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、製造コスト等の上昇が当社の経営を強く圧迫する要因となっている状況のなか、作業効率の改善や仕入の見直しを重視し、コスト削減努力を継続してまいりました。そして、5月には、高生産性で品質管理を徹底させた新たな拠点として、岡山県工場(岡山県浅口市)が本格的に稼働いたしました。

販売に関しましては、「花ソーセージ」「JAS特級あらびきポークウインナー」のCM放映に加え、4月より毎月100名様に商品詰め合わせセットが当たる「おかげ様で100周年キャンペーン」を実施し、販売強化を図ってまいりました。また、商標登録ブランド「ロマンティック街道」シリーズに加え、オリジナル商品「花ソーセージ」や昨年発売を開始いたしました次の100年に向けたブランド「昴ブランド」などの重点商品の販売・販路拡大に努めてまいりました。ギフト販売におきましては、当社の創業100周年、新元号“令和”を記念した特別商品「創業100周年記念ギフト」を発売し、製品ラインアップの拡充を図り、新規顧客拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、消費者の節約・低価格志向や競合他社との価格競争の激化などにより、198億96百万円(前年同四半期比0.8%減)となりました。利益につきましては、製造コスト、物流コスト等の上昇などにより、営業損失は3億0百万円(前年同四半期は営業利益60百万円)、経常損失は2億68百万円(前年同四半期は経常利益93百万円)となりました。四半期純損益につきましては、繰延税金資産の取り崩しにより、法人税等調整額を5億57百万円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は7億25百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 加工食品事業

加工食品事業につきましては、消費者の節約志向が続くなか、「JAS上級あらびきポークウインナー」や「JAS特級あらびきポークウインナー」、「肉厚ハンバーグ」、「ローストビーフ」、「ローストポーク」が堅調に推移しましたが、企業間競争の激化等により売上高は減少いたしました。利益面におきましては、原材料価格の上昇や製造コストの上昇により前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は87億47百万円(前年同四半期比1.3%減)、セグメント利益(営業利益)は2億46百万円(前年同四半期比47.3%減)となりました。

#### 食肉事業

食肉事業につきましては、国産牛肉は、市場ニーズに合った販売が堅調に推移し、販売量は減少したものの売上高は増加いたしました。国産豚肉は、販売量、売上高とも増加いたしました。輸入牛肉は、豪州産、ニュージーランド産牛肉が堅調に推移し、販売量、売上高とも増加いたしました。輸入豚肉は、仕入価格の高騰、競争激化により販売量、売上高とも減少いたしました。利益面におきましては、輸入豚肉の販売量、売上高の減少や国産豚肉の販売単価下落の影響等により前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は111億49百万円(前年同四半期比0.4%減)、セグメント損失(営業損失)は1億15百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)10百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ23百万円減少の178億7百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ7億30百万円増加の79億15百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金8億99百万円の増加と現金及び預金3億38百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ7億54百万円減少の98億91百万円となりました。主な要因は、土地1億94百万円、投資有価証券1億74百万円及び繰延税金資産3億1百万円の減少によるものであります。

### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億71百万円増加の127億90百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ6億11百万円増加の88億14百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金4億57百万円、短期借入金3億62百万円の増加及びその他流動負債1億26百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億59百万円増加の39億75百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債2億35百万円の増加によるものであります。

### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億95百万円減少の50億17百万円となりました。主な要因は、利益剰余金7億75百万円、その他有価証券評価差額金1億10百万円の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年11月11日に公表いたしました業績予想の変更はしておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,858	2,520
受取手形及び売掛金	2,952	3,851
商品及び製品	986	1,110
仕掛品	49	48
原材料及び貯蔵品	250	352
その他	101	34
貸倒引当金	△13	△1
流動資産合計	7,184	7,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,116	3,003
機械装置及び運搬具（純額）	845	964
土地	3,625	3,430
リース資産（純額）	191	144
その他	121	78
有形固定資産合計	7,901	7,621
無形固定資産	29	31
投資その他の資産		
投資有価証券	2,197	2,023
繰延税金資産	301	-
その他	367	370
貸倒引当金	△150	△155
投資その他の資産合計	2,715	2,238
固定資産合計	10,646	9,891
資産合計	17,831	17,807

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,307	2,765
短期借入金	4,677	5,040
未払法人税等	27	30
賞与引当金	171	86
その他	1,019	892
流動負債合計	8,203	8,814
固定負債		
長期借入金	1,425	1,475
役員退職慰労引当金	333	349
退職給付に係る負債	1,809	1,793
繰延税金負債	-	235
その他	145	121
固定負債合計	3,715	3,975
負債合計	11,918	12,790
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	1,155	379
自己株式	△80	△80
株主資本合計	5,270	4,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	707	597
退職給付に係る調整累計額	△65	△75
その他の包括利益累計額合計	641	521
非支配株主持分	0	0
純資産合計	5,912	5,017
負債純資産合計	17,831	17,807

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	20,057	19,896
売上原価	16,396	16,548
売上総利益	3,660	3,348
販売費及び一般管理費	3,599	3,648
営業利益又は営業損失(△)	60	△300
営業外収益		
受取利息及び配当金	39	40
不動産賃貸料	44	44
その他	20	21
営業外収益合計	105	106
営業外費用		
支払利息	49	51
不動産賃貸費用	20	18
その他	2	3
営業外費用合計	72	74
経常利益又は経常損失(△)	93	△268
特別利益		
固定資産売却益	-	144
特別利益合計	-	144
特別損失		
投資有価証券評価損	-	24
特別損失合計	-	24
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	93	△148
法人税、住民税及び事業税	20	19
法人税等調整額	112	557
法人税等合計	132	577
四半期純損失(△)	△39	△725
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39	△725



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△39	△725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△458	△110
退職給付に係る調整額	14	△9
その他の包括利益合計	△444	△119
四半期包括利益	△483	△844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△483	△844
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,861	11,195	20,057
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,861	11,195	20,057
セグメント利益又は損失(△)	468	△10	457

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	457
全社費用(注)	△397
四半期連結損益計算書の営業利益	60

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,747	11,149	19,896
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,747	11,149	19,896
セグメント利益又は損失(△)	246	△115	131

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	131
全社費用(注)	△431
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△300

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。